



コロナウイルス感染症に係る 施設の対応方法

目次



はじめに	・・・	p3
感染疑い発生時の対応	・・・	p4
陽性者が出た場合の対応	・・・	p7
濃厚接触者の定義	・・・	p11
濃厚接触者と疑わしい者が出た場合の対応	・・・	p14
外部との接触について	・・・	p21
マスクによる熱中症予防	・・・	p25

はじめに



新型コロナウイルス感染症の感染者数が全国各地で市中感染や家庭内感染が常態化しており、新型コロナウイルス感染事例が身近なものになりました。

日々の感染予防を徹底することはもちろんではございますが、施設として万が一感染者が発生した場合の対応を考えておかなければなりません。

そこで今回は、感染者が出た場合の対応や濃厚接触者の定義等、もしもの時に備えて必要な対応方法をお伝えいたします。

感染疑い発生時の対応 ～感染疑いの発生から検査結果後の流れ～



感染疑い～検査までの流れ



疑わしい症状

- ・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上
(高齢者や基礎疾患のある方は2日以上)
- ・倦怠感、呼吸困難がある
- ・味覚症状の異変



かかりつけ医がいる

通院している医療機関へ相談

かかりつけ医がない

各新型コロナ受診相談窓口へ相談

相談の結果・・・

新型コロナ外来またはPCR検査センターの受診が必要と判断された方は、受診します。
(受診先の医師が検査の有無を決定します)

**PCR検査が
必要or不要**

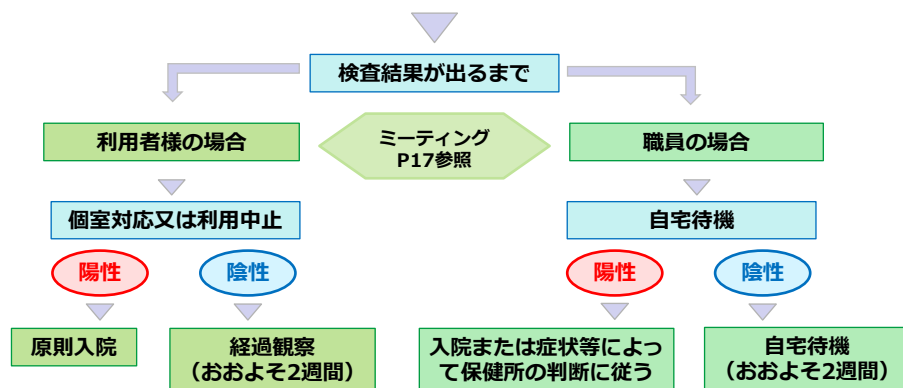
PCR検査以降の流れは
次のページ→

感染疑い発生時の対応



PCR検査を実施する対象者が「利用者様の場合」と「職員の場合」で
対応が異なります。

PCR検査等の実施





陽性者が出た場合の対応

感染確定後の対応



陽性者が発生した場合の連携先

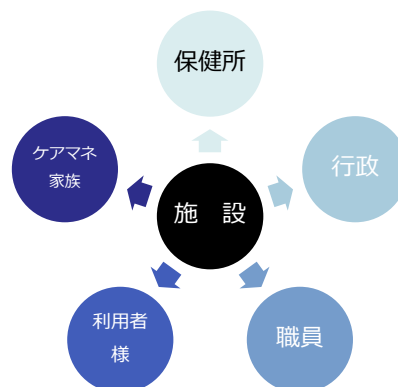
陽性者が発生した場合に、原則、保健所・行政の指示に基づいて対応を行います。

保健所や行政は、事業所、利用している利用者様職員のプライバシーを考慮した指示を行います。

決して
自分たちで勝手に判断しないことがポイントです。

事業所は、予め、関係者や関係機関を想定しておくことで、冷静かつ迅速な対応に繋がります。

次ページに、各関係者、関係機関へ連携すべき内容を説明いたします。



感染確定後の対応

施設

ケアマネ・家族様

陽性者が発生したタイミングで休業の判断及び案内を行う

行政

事故報告書の提出

保健所

濃厚接触者の特定

- 濃厚接触者リスト作成
- 行動記録の作成

→リストや記録は保健所の職員又は事業所にて作成

→次ページの「濃厚接触者の定義」を確認。

- 検温や体調の記録提出

→ケア記録又は別途資料を作成


PCR検査

	利用者	職員
濃厚接触者	自宅待機 代替えサービス 検討	自宅待機指示 (2週間)
陽性者	入院	感染職員は休職扱い (休業補償・労災保険 の適用等の検討)
上記以外	利用可能	出勤可能

保健所・行政へ連絡を行う。
(保健所から直接行政に連絡が入る場合もあり)

職員様の検討可能な休業補償及び助成

- 雇用調整助成金
- 新型コロナウイルス感染症対応休業支援金、給付金
- 労災補償（労災）
- 傷病手当（健康保険）

 有信アクロス株式会社

9

濃厚接触者リスト作成例（東京都大田区 様式）

接触者一覧表

氏名	カナ	生年月日	住所	連絡先	最終接触日	接触状況
例 蒲田 太郎	カマタ タロウ	1989/1/1	大田区蒲田5-13-14	090-●●-×××	6月1日	6/1にマスクを着用せず患者を車で送迎（1時間程度）
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

 有信アクロス株式会社

10



濃厚接触者の定義

濃厚接触者の定義と期間



濃厚接触者の定義

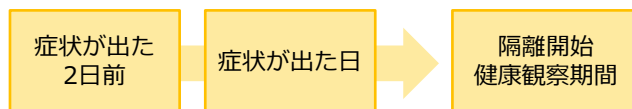
1. マスクを着用せずに1m以内15分以上で濃厚接触者に該当



2. 患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
3. 適切な感染防護無しに患者（確定例）を診察、看護若しくは介護していた者
4. 患者（確定例）の気道分泌液若しくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者

感染するかもしれない期間の考え方

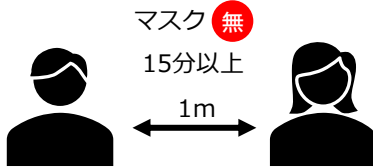
1. 症状が出た2日前から接触している(症状が出てから2日前の行動履歴を基に)
2. 濃厚接触日を0日として14日は健康観察期間



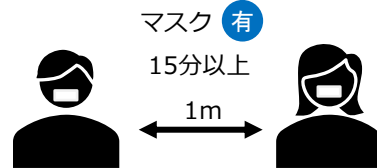
濃厚接触者の定義と期間



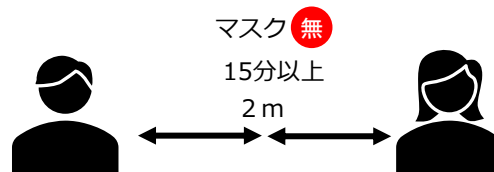
濃厚接触者に該当



濃厚接触者に該当しない



濃厚接触者に該当しない



濃厚接触者と疑わしい者が 出た場合の対応

濃厚接触者と疑わしい者



よくある質問

ご利用者もしくは職員の家族などの身近な方に
ご利用者が併用している施設
ダブルワークしている職員の職場
職員のお子さんの学校、保育園



感染者、感染疑いがある者・濃厚接触者がいる
どうすれば良いのでしょうか？



保健所から、当該ご利用者様、職員が濃厚接触者として
特定をされなかった場合は、ご利用・出勤は可能です。

ここまでが、保健所の判断です

濃厚接触者と疑わしい者



それでも不安だ！
陽性者が発生すれば、施設は休業せざる得ない！



それ以上になれば施設判断になります



事業所は集団感染防止とご利用者様の継続的な支援を求められる両側面が
あることから、本部からの強制ではありませんが最長の線引きとして

【濃厚接触者の疑わしい者が出た場合】

〔 症状がないかを確認した上で、1週間～2週間の健康観察を
行いご利用・出勤と定めます。 〕

※健康観察期間中のご利用者様へは定期的にご連絡をお願いします。

※健康観察期間中で欠勤となる職員は、置かれている状況を十分に理解した上で
不要不急の外出は控えてください。

濃厚接触者と疑わしい者の対応

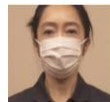


身寄りのない（独居・退院）ご利用者様が感染疑いがある者・濃厚接触者（疑い）で受入れ先がない場合、どのような対応をすべきでしょうか？



共通事項の注意点

- ・原則、個室対応。ない場合は、スペースを分けるか他の利用者様と2m以上の距離をとりカーテンやパーティションで区切る
- ・ドアノブ、取っ手、手すり、廊下、共有スペース等を消毒清掃します。
- ・対応する職員は、複数名にならないよう、特定の方が対応する
- ・対応する職員は、マスク、フェースシールド、手袋、防護服を着用し介助ごとに手指消毒を行う



引用先：東京都保健福祉局「高齢者施設による新型コロナウイルス感染予防」



有信アクロス株式会社

17

17

食事介助



食事介助のポイント

食事介助の前は、必ず手洗いと手指消毒を行います。
感染が疑われる利用者の食事は、原則として隔離し防護具を着用して行います。

下膳時の注意点

介助を終えた職員は防護具を着たままフロアに出ることがないように、別の職員に食器を渡します。待機している職員は、ガウンの着用は必要ありませんが、マスク・手袋を着用してください
下膳した食器類は、他の利用者の食器と混ざったり、防護していない複数の職員の手に触れることのないように注意してください。

引用先：東京都保健福祉局「高齢者施設による新型コロナウイルス感染予防」



有信アクロス株式会社

18

18

排せつ介助



排せつ介助のポイント

感染が疑われる利用者の排せつは、使用するトイレを他の利用者と分けることが重要となります。そのため**ポータブルトイレの使用が推奨**されます。
使用後のポータブルトイレは、消毒してください。
どのような排せつ介助は職員は防護具を着用して行いましょう。

おむつ交換のポイント

防護具を着用し、排せつ物に直接触れないようにします。
使用済みのオムツはビニール袋に入れて口をしっかりと縛る。
オムツを入れたビニール袋は、居室の外には持ち出さず、居室内のふた付きのゴミ箱に破棄する。

トイレ清掃

ドアノブ、取っ手、トイレの手すり、便座等を清拭します。この際も必ず防護具を着用しましょう。

引用先：東京都保健福祉局「高齢者施設による新型コロナウイルス感染予防」

清拭・リネン、衣類の取り扱い



清拭の注意点

感染が疑われる利用者は、入浴ではなく原則として清拭で対応してください。

衣類・リネンの処理のポイント

衣類や使用したリネンは、ビニール袋に入れて他の職員が触れることがないように、持ち出します。その際、床にビニールが触れないように注意してください。
衣類等の処理をする場合も防護具を着用し、そのままフロアに出ないように、別の職員に手渡します。受け取る際も、ビニール袋をそのまま触らず、他のビニール袋に入れて受け取るようにしてください。

引用先：東京都保健福祉局「高齢者施設による新型コロナウイルス感染予防」

外部との接触について

有信アクロス株式会社

21

面会・来訪者の対応

面会者やデイサービス等の利用者への対応

検 温

面会の制限

面会方法の工夫

- ・面会時や送迎車に乗る前に検温し、発熱や咳などの症状がある場合は面会やサービスの利用を断る。
- ・感染症流行下では緊急のやむを得ない場合を除き、面会を制限することが望ましい。
- ・対面での面会に替えて、テレビ電話システムやアプリでのビデオ通話などを活用する方法や、広く換気ができる場所（地域交流スペースなど）で面会する。
- ・アクリル板を設置して飛沫防止対策を行った面会室を設置するなど、感染防止に配慮した面会方法を工夫する。

委託業者への対応

検温・物品の受け渡し

- ・施設内に入る場合は検温し、発熱や咳などの症状がある場合は入館を断る。
- ・物品の受け渡し等は、場所を決めて対応する。

引用先：東京都保健福祉局「高齢者施設による新型コロナウイルス感染予防」

有信アクロス株式会社

22

面会の方法



- ・体温測定、面会来訪者チェックシートのご記入、ご提出
- ・手指消毒とマスクの着用(必要に応じて、手袋・フェイスシールド着用)
- ・利用者との距離(約 2m以上)を取り、お互いの身体には触れない
- ・短時間 (15分以内)
- ・面会場所は事務所でご案内します。
- ・事前の電話で予約をお願いします。
- ・3密の回避の為、面会者は原則1名でお願いします。



家族等との面会



面会来訪者チェックシート作成

過去2週間以内に感染者、感染の疑いがある者、濃厚接触者との接触がないこと、面会来訪者チェックシートの全てに該当しないこと等の要件を満たしたうえで、十分な予防対策のもとで面会をご検討ください。

別紙：面会・来訪者チェックリスト

オンライン面談について

アプリ：LINE、ZOOM、Skypeなど

注意点

相手側にWi-fi環境があるかを確認してください。
個人情報の観点より（会話内容など）原則、個室で行う
感染予防の観点より、手指消毒および端末の消毒を行う
補助する職員は、1mほど距離をとりマスクの着用をする

詳細は「介護保険最新情報Vol.834」をご参照ください





マスクによる熱中症予防

コロナ禍での熱中症の危険性



現在、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、
「新しい生活様式」として、一人ひとりが感染防止の3つの基本である

1. 身体的距離の確保
2. マスクの着用
3. 手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける

等の対策を取り入れた生活様式を実践することが求められています。

コロナ禍での熱中症の危険性



しかしマスク着用により・・・



場合もあります！

コロナ禍での熱中症の危険性



なぜかという・・・

気温が高くなり体内に熱がこもるようになると汗をかいたり、呼吸をして冷えた空気を体内に取り込んだりすることで熱を発散していき、体温調節を行います。ですが、マスクをしていると自分の呼吸によって温かい空気しか入ってこないため、**呼吸で身体を冷やすことが難しく、むしろ体温を上昇させてしまいます**。また、顔の半分ほどがマスクで覆われることによって**熱がこもりやすくなります**。このように熱がこもりやすく発散しにくくなっているのに加えて、マスクによる加湿で**口の渇きを感じにくくなる**ため、熱中症に気づくのが遅くなり、マスクなしで過ごしていた時よりも熱中症になるリスクは高まると考えられています。

コロナ禍での熱中症の危険性



他にも・・・

マスクを着用していない場合と比べると、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど、**身体に負担がかかる**ことがあります。

従って、高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあります。

コロナ禍での熱中症の危険性



対策として

- 1.屋外で人と十分な距離（少なくとも2 m以上）が確保できる**場合には、マスクをはずす**ようにしましょう。
- 2.マスクを着用する場合には、強い負荷の作業や運動は避け、**のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を**心がけましょう。
- 3.周囲の人との距離を十分にとれる場所で、マスクを**一時的にはずして休憩する**ことも必要です。
- 4.外出時は暑い日や時間帯を避け、涼しい服装を心がけましょ
う。